

報道関係各位
プレスリリース

2026 年 1 月 16 日
株式会社 Liberaware

Gold Partner 販売店契約／九州エリア

現場実績に裏付けされた提案力を武器に 国産ドローン事業を展開する MAX 工業が Gold Partner 契約を締結

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、株式会社 MAX 工業（本社：福岡県北九州市、代表取締役 CEO：宮原 辰光、以下「MAX 工業」）と販売店契約を締結し、同社が当社製品の「Gold Partner（GP）」として活動を開始したことをお知らせします。



■GP 販売店契約締結の背景と目的

近年、インフラ設備やプラント、製造・建設現場においては、設備の老朽化進行や人手不足、安全管理の高度化を背景に、点検・調査業務の効率化と高度化が強く求められています。

MAX 工業は、長年にわたり現場密着型の施工・保全業務を通じて培ってきた高い技術力と、設備構造や運用を深く理解した提案力を強みとし、多様な現場課題の解決に取り組んできました。

一方、当社は、「狭くて・暗くて・危険な」屋内空間の点検を可能にするドローン「IBIS2」を中心としたロボティクス技術により、従来手法では困難であった領域の可視化を実現してきました。

これまでも両社による実証や顧客提案を通じて協業を重ね、現場理解と先端技術を融合させる有効性を確認してきました。

本契約により MAX 工業は Gold Partner として、九州エリアを中心とした顧客網への「IBIS2」の販売拡大を進めるとともに、導入前検討から運用支援までを一貫して担い、より実効性の高いソリューション提供を通じて、現場の安全性向上と業務高度化に貢献します。

■株式会社 MAX 工業 代表取締役 CEO 宮原 辰光コメント

「当社はこれまでも国産ドローンに特化した事業を展開し、九州の現場に根ざした運用体制のもと、機体販売から人材育成、オペレーションまで一貫して推進してまいりました。IBIS 関連では、下水道調査を中心とした点検業務で実運用を重ねながら、IBIS2 パイロット育成の講習会も担当し、現場で“使い続けられる”運用づくりに取り組んでおります。今後は Gold Partner として、IBIS2 の魅力をより多くの皆様に届けるとともに、IBIS が社会に実装され、安全・効率・持続性を支える技術として広がっていく未来を実現できるよう、全力で取り組んでまいります。」

■販売店制度の概要

本制度は、「IBIS2」を活用し新たな事業を展開したい企業に向けたもので、当社がこれまで培ってきた営業・マーケティング・点検技術のノウハウを提供しハンズオンでの支援を行うことで、販売店として「IBIS2」セットを販売いただくものです。また、当社からは販売店へ「IBIS2」を用いた点検スキルの獲得も支援し、点検サービスを提供できる体制も確立していきます。販売店のカテゴリは「Gold Partner（1 次販売店）(*1)」「Silver Partner（2 次販売店）(*2)」に分別されます。



販売店制度への加盟後、各販売店は、販売・マーケティング・1 次対応業務を担い、当社は講習会の実施や修理対応などの技術支援を行います。

<エリア別「Gold Partner」加盟社数>

エリア	都道府県	上限販売店数
北海道	北海道	2 社
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	2 社
北関東	茨城県 栃木県 群馬県	1 社
南関東	埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県	5 社

北陸	新潟県 富山県 石川県 福井県	1 社
中京	愛知県 岐阜県 静岡県 三重県 長野県	4 社
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	4 社
中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	2 社
四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	1 社
九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県	3 社
沖縄	沖縄県	1 社

(*1) 「Gold Partner (1 次販売店)」の加盟条件等、詳細をご希望の方は当社 HP にてお問い合わせください。

(*2) 上限を超えた場合は、既存の「Gold Partner」と連携し、「Silver Partner」として参画いただく形を検討します。

■ 当社による販売店支援

当社では、パートナー企業の立ち上げを以下の 3 軸でサポートします。これらの支援により、「IBIS2」を活用した新規事業の立ち上げから事業化までをハンズオンで伴走支援します。

<営業・マーケティング支援>

展示会やデジタル広告運用のノウハウ提供、営業同行、共同セミナー企画など

<事業計画策定支援>

ターゲット設定から営業プロセス設計まで、当社が培った実践ノウハウをもとに、売上につながる販売戦略づくりを支援

<技術研修・操縦教育支援>

実地研修を通じて、「IBIS2」の安全運用および点検サービス実施体制を確立

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会 社 名：株式会社 Liberaware (リベラウェア)

代 表 者：関弘圭 (ミン・ホンキュ)

所 在 地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設 立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
 - ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
 - ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業
- U R L : <https://liberaware.co.jp/>

X アカウント : <https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL : 090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com